

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称		〔18〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム台東				
指定管理者の名称		社会福祉法人聖風会		指定期間	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター、短期入所、在宅介護支援センター、ヘルパーステーション、グループホーム、ケアマネジメントセンター、地域包括支援センター等の運営					
(2) 類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム5施設					
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) 歳入4,617,962,704円 歳出4421,681,797円 収支差額196,280,907円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区台東1-25-5					
(2) 設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3) 利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4) 開館日・時間	通年、24時間					
(5) 規模	延べ床面積 21,236㎡のうち3,352㎡ RC造地上14階地下2階のうち4・5階部分居室、個室、食堂、浴室、クリーンルーム、医務・看護室など					
(6) 人員体制	40名 内訳…施設長(1)、事務員(常勤2、非常勤1)、介護職員(常勤21、非常勤9)、介護視線専門員(1)、看護職員(常勤1、非常勤2)、相談員(1)、栄養士(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1) 委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護、季節行事等) 地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料	53,699,000	55,831,000	47,736,000	44,900,000	37,665,000
	料金収入等	242,398,000	233,573,000	234,098,000	248,599,000	267,146,000
	管理経費	296,097,000	289,404,000	283,778,000	293,499,000	304,811,000
決算	委託料	56,417,000	23,919,662	22,237,565	44,900,000	37,665,000
	料金収入等	314,269,051	282,055,459	291,955,155	243,730,888	267,493,355
	管理経費	341,148,778	287,990,886	291,023,074	280,475,644	292,977,008
	収支	29,537,273	17,984,235	23,169,646	8,155,244	12,181,347
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
入所定員(ショートステイ含む)		人	60	60	60	60
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度
利用率(特養+ショート)		%	97.5	96.4	92.9	95.0
利用者数(特養+ショート)		人	21,400	21,180	20,346	20,798

7. 前年度からの取組

クレーム処理の適切化のため、データベース及びマニュアルを作成し、昨年度評価における課題の解決が図れた。
また、サービスマナー委員会を設け、マナー目標を定期的に唱和させたり、マナー新聞を作成して回覧することで、適切なサービスの提供を図っている。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.3]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[3]	(h) 個人情報保護	[3]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[3]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[3]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未達）：協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	S	個人情報セキュリティ委員会の立ち上げなど、個人情報保護への取り組みを強化しつつ、良好なサービスを提供することで高齢者福祉の増進に寄与している。
(2) 施設の維持管理	A	施設保全及び危機管理に高い意識を持って維持管理に取り組んでいる。
(3) 利用者の満足度	S	利用者の要介護度が高くなっていく中で高い利用率を維持しているとともに、満足度調査では特に接遇面での評価が高い。
(4) 歳入歳出	A	利用率の増加による介護報酬の増額と、指定管理料の減額が図られている。一方、管理経費は前年度よりやや増えており、今後はその縮減も必要である。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好

個人情報セキュリティ委員会の立ち上げなど、個人情報保護への取り組みを強化しつつ、全般的に良好なサービスが提供されるなど、適切な事業運営が行われており、高い利用率を維持している。

11. 評価結果への対応

施設は開設後9年が経過しており、様々な箇所で経年劣化が進行しているため、計画的に営繕工事、備品修繕等を行っていく必要がある。高い利用率を維持していくため、より利用者に密接な質の高いサービスを提供していくとともに、経理面においては経費削減の努力によって運営経費の額を減らしていくことも求められている。